

京丹後市立弥栄病院

管理課長 野田昭男

【第1日目】瀬戸内市立瀬戸内市民病院

〈内容〉京都府国診協事務局から事前に瀬戸内市民病院に質問事項を提出しており、病院事務方から回答と質疑応答、竹内龍三院長から病院運営等の説明を行っていた後、院内施設の見学を行いました。

■病院の概要■

瀬戸内市立瀬戸内市民病院の前身は、邑久町立病院と瀬戸内市立邑久病院です。邑久町時代からの累積赤字が懸案事項となり、平成18年4月からは地方公営企業法が全部適用され病院事業管理者が設置されました。旧邑久町立病院は牛窓分院として存続、翌年4月、瀬戸内市立瀬戸内市民病院に名称変更し、平成20年4月から入院機能を瀬戸内市立病院に集約、牛窓分院は外来のみの診療所となっています。

平成28年10月に新病院棟が西隣に完成、病床数は一般病床64床、地域包括ケア病床16床、

回復期リハビリテーション病床30床、計110床。病棟とリハビリを2

階に、外来診療、

検査、食堂、事務

室は1階に集約、

極力エレベーターを

使わなくてもよい

配置となっています

が、旧病院の2・5

倍程度の延床面積

が確保されています

す。瀬戸内市は住

民健診の受診率が

20%前後と低いこ

ともあり、今後は地域と連携しながら受診率の

向上にも力を入れていきたいとのことでした。

■所感■

竹内院長は、「医療はサービス業」という考えのもと、赴任以来ソフト面の充実に力を注がれています。「設備や施設といったハード面がいくら立派でも、提供する医療・サービスといったソフト面の質が悪ければ意味がありません。『仏作って、



瀬戸内市民病院からの概要説明

魂入れず』これだけは避けなければいけない」という言葉が大変印象的でした。ソフト面の充実のため、市に要望し看護師の定数枠を増やしてきたということですが、110床の病床を安定的に回すために必要なことであるとともに、職員のモチベーションを上げる点でも好結果がもたらされているようです。

瀬戸内市民病院の地域性・病院力から考えて、急性期・回復期を担う病院としての立ち位置を確立するとともに、治す治療だけではなく、支える医療にも力を入れ市民から信頼され愛される病院にしたい、と温厚な語り口の中にも強い思いが伝わってきました。

新病院の建築費の償還は35年償還で年間約1億円の返済予定となっていますが、市からの援助を受けずに運営する方針とのこと、新病院の借金を返しながら独り立ちできるようにするには何をすべきか、職員一人ひとりが真剣に考える雰囲気を感じられました。

また、医師確保の点では、瀬戸内市民病院は岡山市から車で20分圏内と立地に恵まれているため大学病院等からも支援が得られやすいこと

もありますが、竹内院長は、「良い医者」に来ていただくことが大切で、良い医者であれば少ない人員でも病院は回ると話されるなど、医師採用時の面接は自身で行うことも話していただきました。

2時間の視察の中で「医療はサービス業」という竹内院長の考えが職員一人ひとりに浸透していること、新病院に「魂が入っている」ことを感じられた視察でした。

【第2日目】赤磐ふれあい公園

〈内容〉園内体育館内研修室で岡山県女子バレーボールチーム 岡山シーガルズコーチの中田聖子氏Ⅱ写真Ⅱの講演と質疑応答、体育館で岡山シーガルズの練習風景を見学

■所感■

岡山シーガルズはVリーグ機構に属するチームの中で数少ない市民参加型クラブチーム。前身は東芝シーガルズです。選手獲得や練習環境など資金力が豊かではない中、Vプレミアリーグでも上位の成績を収めています。チームを率いる河本昭義監督の指導方法について、岡山シーガルズコ



ーチの中田氏から「選手の能力を引き出すコーチング」の演題で講演をいただきました。

河本昭義監督は、東芝シーガルズ時代から監督を務め、「考える心のバレー」、「発展と調和」、「自己の一流とは」を掲げ、人間教育に重点を置いたコーチングを実践されています。選手には「自分ができる能力」にどこよりも挑戦することを求め、選手の意欲を引き出し、力を出し切らせ、無名の石（選手）を宝石に変えていく。選手の話

を聞き、「自分もできる」という意欲を持たせることで、レギュラーと控えの選手の別なく隅々まで満ちており、それゆえに一体感のある力強い組織が作られていると感じました。気（モチベーション）の結集と例える組織力とコーチング・監督力について、とても有意義な講演でした。



今回の研修は、地方公営企業法全部適用の病院経営のほか、医療はサービス業という視点からソフト面の重要性を学ぶ良い機会となりました。また、ソフト面にはモチベーションや組織力、コーチングといった要素が求められることなど、2日間の研修内容が関連性を持ち学ぶべき点多く大変有意義な研修でした。

最後に、今回の視察研修にあたり瀬戸内市民病院の竹内院長をはじめ病院職員の皆様、岡山シーガルズ監督、コーチ及び選手の皆様、京都府国保診療施設協議会事務局をはじめ研修会参加者の皆様には大変お世話になりました。改めてお礼を申し上げ視察報告といたします。